

こはい動物といやな動物

東京女子高等師範學校附屬幼稚園

—

昭和三年十月末當幼稚園幼兒につき

「あなたのこはい動物は何ですか」

「あなたのいやな動物は何ですか」

といふ問を出して調査した結果であります。勿論幼兒一人一人について尋ねたのでありますし、動物といふ言葉については解説したのでありません。また小さな組の幼兒などには「こはい」と「いやな」との區別が明白でないものがあつたことも事實であります。いろ／＼なことが含まれてゐますが、茲にその結果についての統計を發表いたします。

こはい動物

動物名	男		計	女		計	合計	小	大
	小	大		小	大				
獅子	九	一四	二三	一〇	一五	二五	四八	一九	二九

小 馬 狐 犬 鼠 猿 蛇 豹 熊 鱈 ゴ 象 猪 狼 虎
 リ
 羊 ラ

一 〇 〇 一 〇 二 三 〇 一 一 〇 一 二 六 七

〇 〇 〇 〇 一 〇 〇 一 一 一 二 三 三 三 三

一 〇 〇 一 一 二 三 一 二 二 二 四 五 九 〇

〇 一 二 一 〇 〇 四 〇 一 〇 〇 一 三 四 八

〇 〇 〇 〇 〇 一 一 一 二 二 一 〇 三 三 四

〇 一 二 一 〇 一 五 一 三 二 一 一 六 七 二

一九 一 一 二 二 一 三 八 二 五 四 三 五 一 一 二 三

一 一 二 二 〇 二 七 〇 二 一 〇 二 五 〇 五

〇 〇 〇 〇 一 一 一 二 三 三 三 三 六 六 七

この表から分るが、「小」は年齢の小なる幼児で、昨年四月から幼稚園に入つた幼児であります。而して、年齢の大なる幼児で、一昨年四月幼稚園に入つた幼児であります。而して、

一男 こはい動物の種類 二十種

幼児数	ナ	兄	泥	地	雷	あ	一	鬼	天	鷺	猫
	シ	サ	マ	棒	震	ば	目	小	僧	狗	
44	—	—	—	—	—	二	—	○	—	—	○
34	二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	三	—	—	—	—	二	—	○	—	—	○
37	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
148	三	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—
81	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—
67	二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

小女 同

十二種

大男 同
女 同

十一種
十種

更におげ、鬼、天狗、雷、地震、泥棒等がこはい動物として上げられてゐることに注意せねばならず、殊に見サマがこはい動物となつてゐることも注目すべきことでせう。只一人だけではあるが。また男兒にはこはい動物のないといふ幼兒がゐるが、女兒には皆無であることも面白い。幼少な幼兒程、こはい動物の種類數に富むが、大きな幼兒では次第に減少する傾向があるし、男兒の方はこはい動物が多様であるが、女兒では集中してゐる傾向があるとも見られませう。總じて是等のこはい動物は實物をよく見たとか、知つてゐるとか、いふものでなく、多くは「お話」の中に出て來るものが多いやうな傾向もありませう。本當に獅子や虎がこはいかどうか。一寸動物園の獅子や虎を見ての恐怖心ではありますまい。狼や猿などは殆ど見たこともない位でせう。また鱈でも蛇でも恐怖を抱いた經驗が全くない位であります。それで本能的なものが、それともお嘶などでこはいといふことがしみこんだものか。

二

いやな動物厭惡すべき動物となると、幼兒によつて著しい變化がある、論より證據、次の表をよく御覽下るとよす。

動物												
蛇	虎	鼠	豚	猿	鹿	熊	狼	河	獅	豹	鱷	貓
子馬												
小	九	四	〇	一	二	〇	〇	〇	〇	二	三	〇
大男	七	三	二	一	三	二	〇	〇	一	三	二	二
計	16	7	2	2	5	2	0	3	6	2	2	2
小	四	〇	〇	一	〇	二	二	一	五	〇	〇	〇
大女	二	四	四	二	一	三	三	二	〇	〇	一	〇
計	6	10	4	4	3	5	5	3	5	0	1	0
合計	22	17	6	6	8	3	5	6	11	2	3	2
小	三	一	〇	〇	三	二	二	〇	八	〇	一	〇
大	九	七	六	五	五	三	三	三	三	二	二	二

毛 蟻 龍 犬 牛 駱 狸 み 大 馬 針 蛙 狐 象 猪

、

虫 駝 ず 蛇 鼠

一 一 二 三 二 一 〇 〇 〇 一 〇 一 〇 一 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 一 一 一 一 一 一 〇

1 1 2 3 2 2 0 0 1 2 1 2 1 2 0

〇 〇 〇 〇 一 〇 〇 一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 一 一

〇 〇 〇 〇 一 〇 一 一 〇 〇 〇 〇 〇 一 二

0 0 0 0 2 0 1 2 0 0 0 0 0 2 3

三三

1 1 2 3 4 2 1 2 1 2 1 2 1 4 3

一 一 二 三 三 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 二 一

〇 〇 〇 〇 一 一 一 一 一 一 一 一 二 二

小
女 男
十五種 二十四種

いやな動物の種類数を上げると左表の如くなります。

幼児数	無	が い 骨	泥 棒	でんでんむしの つぶれたもの	幽 霊	あ ば け	う じ	鷺 鳥	ブルドック	山 羊	羊
43	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○
34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0
31	三	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
140	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
74	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

大
男 十八種
女 十五種

この場合に於ても男兒に多くの種類があるが女兒に少いことは女兒にとつていやな動物、こはい動物が一致してゐる傾向の大なることを示すものでありませう。男兒ではまぢくで幼少な者には一層その傾向の大なることを示してゐます。そしていやな動物の方は男女共にこはい動物よりも種類の多いことは餘程注意すべき點であります。こはい動物は實感を伴ふものが少いがいやな動物には幼兒が何かの機會に實感したものが多いやうであります。比較的幼兒に接近した事物が多いこと事實であります。しかし兩方共にお話と、家庭に於ける人々よりの影響があることに氣をつける必要がありませう。兎に角この調査は甚だ不完全であります。更に附加する機會のあることを期し茲に第一回の發表をいたす譯であります。